

進捗報告書（実行団体）

事業名:	社会的養護施設の人材確保支援
資金分配団体:	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
実行団体名:	NPO法人チャイボラ
実施時期:	2020年 10月 ~ 2021年 9月
事業対象地域:	東京都・神奈川県・埼玉県

Version 1.2

日付: 2021年3月23日

事業対象者:	事業で直接支援する対象者: 東京都・神奈川県・埼玉県の社会的養護施設・施設職員 最終受益者: 児童養護施設に入所する児童
--------	---

I. 事業概要

事業概要
コロナにより、離職・退職が相次ぎ、採用活動も大幅に鈍化している社会的養護施設の「新規職員の採用」をサポートすることで、入所児童への十分な支援体制を作る。 既に運営中のチャボナビ、見学会の企画運営、出張授業、社会的養護に関する情報の発信、相談窓口の各施策を加速させるため、新たな広報戦略を実行し求職者や施設に必要な情報が届けられるようにする。 また上述の活動を加速させるため、現在のボランティア・プロボノスタッフが事業運営に集中できるよう、弁護士・社労士・税理士等の専門家から支援を調達し、本団体そのものの実行力・ガバナンス強化も行う。 【追加施策】 採択の条件として以下の内容を追加する ①国・自治体に対し政策提言を行う ②チャボナビ掲載基準を作成する

II. 進捗報告の概要

総括
予定していた事業全体的に大きな進捗の遅れはなく、順調に進捗することができている。昨年度より蔓延しているコロナウイルスの影響により、オフライン開催が中心であった施設見学会について、参加数の減少が懸念されたが、オンライン化を進めることにより、一定の見学者数の確保を行うことができています。チャボナビ自体の認知についても、各種メディアに取り上げてもらうことにより、対象地域外も含めて認知が広がりがつつある。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
1：新規広報戦略によるチャイボラ・チャボナビの認知拡大 2：新規採用職員の拡大	1：新規広報戦略によるチャイボラ・チャボナビの認知拡大 CV率をチャボナビ会員登録数としており、9月時点で99名。以降、順調に増加し、2月28日時点で332名（9月比3.35倍）となっている。増加要因としては、半期を通して①養成校を中心とした各種学校への出張授業②施設との合同イベントの開催③チャイボラ公式HPの改定による動線の整理④各種SNSからの情報発信の強化⑤プレスリリースを含む有料広告による認知拡大施策の効果⑥1月よりリリースした新事業（相談窓口事業）による波及効果など、複数の要素による複合的効果であると考えられる。 2：新規採用職員の拡大 現状のチャボナビの機能では、採用人数を把握する機能がない為、チャボナビ登録施設全てに4月中にコンタクトを取り、チャボナビ及びチャイボラの活動を通して採用した人数を把握する予定。3月中にはアンケートフォームを作成し、施設の業務が落ち着く4月後半を目処に、各施設に配信を行い、採用実数の把握を行う。実数の報告については、定例の月次ミーティングで報告をおこなっていく。以降、1年毎に実施予定。

活動	進捗状況	概要
養成校への出張授業	ほぼ計画通り	助成決定後の2020年9月～2021年2月末までの段階で、8校合計14コマの授業を実施。700名程度の学生への授業を実施し、チャイポラ並びにチャボナビの認知拡大活動を行った。次年度に向けて、各養成校の先生方との懇親会に参加し、2021年4月以降の予定を設定していく予定。
求職者向けの動画制作	計画通り	2020年10月段階で施設紹介動画は完成。ターゲットを学生向け、求職者向けと2つのセグメントにわけ、それぞれ向けのYou Tubeチャンネルを作成・公開を行っている。また、上記の養成校での出張授業の際に動画視聴の時間をとったり、チャイポラでの学習会の際に同様の時間をとることで、認知拡大のツールとして活用している。なお、それぞれの動画の視聴回数は、「学生向け動画：328回」「求職者向け：325回」となっている。
チャイポラの向き合う社会課題およびチャイポラ・チャボナビの認知拡大のためのLP制作	計画通り	2020年10月に完成予定であったが、多少の遅れが発生し、結果的に2020年11月に完成。2020年12月からweb上にアップし、運用を開始している。また、1月に改修を行った団体HPの中にも埋め込みを行い、認知拡大のためのツールとして活用している。
オンライン施設見学会の実施	ほぼ計画通り	2020年10月～2021年4月（予定）までで5回のオンライン（オフライン合同を含む）見学会を実施。合計で178名の学生・求職者の方のお申込みを頂くことができた。コロナウイルス蔓延の中で、多くのニーズを確保することができた。
SNS広報	ほぼ計画通り	プロボノスタッフを中心に、SNSチームを構築し、それぞれのSNSで戦略的に投稿を行ってきた。また、有料広告も活用し、2021年10月段階で合計フォロワー数1821人（Twitter：465 Instagram：142 Facebook：735 公式LINE：479）だったフォロワー数が、2021年2月段階では、合計フォロワー数2366人（Twitter：724（+259） Instagram：174（+32） Facebook：912（+177） 公式LINE：556（+77））と545名の増加を獲得することができた。若年層を中心とした認知拡大へのプラットフォームとして活用していく。
掲載基準の制作	計画通り	作成を2020年11月段階で終了し、現在登録各施設への説明を実施している。今後、全施設に確認を行うとともに、新規登録施設には、登録前に説明を行い、同意を頂いた上で登録を行っていく。また、内容については、定例的（1年毎を予定）に見直しを行い、今後変化していく状況に適切できるように運用を行っていく。
社会的養護認知拡大のための学習会開催	計画通り	ターゲットのセグメントを切り分けて、3タイプの学習会（一般向け、現場職員向け、施設長を含む管理職向け）を展開している。一般向けのオンライン学習会については、2020年12月に連続3回開催し、合計90名のお申し込みを頂いた。今後、月1回程度の開催を行っていく。施設の職員向けの学習会については、現場職員向けと施設長を含む管理職向けをそれぞれ月1回ずつ開催し、2021年1月、2021年2月を併せ、全国から111名の参加を獲得することができた。今後も毎月開催を行っていく。
プレスリリース	計画通り	2020年12月に2件（学習会の開催について、施設職員向け研修会の開催について）2021年1月に1件（社会的養護施設職員のための相談窓口開設）2021年2月に1件（バレンタイン寄付キャンペーン）のプレスリリースを行った。どの件も、チャボナビに直接関連する内容ではなかったが、波動的に認知を広げる結果となり、プレスリリースを実施する前月までと比較すると、PV数、会員登録数共に月間の増加率が向上した。特に、2021年12月～2021年1月までのPV数の増加は、1ヶ月間で+2260となっており、大幅な増加数が見られた。
未登録施設へのチャボナビ登録を促す広報冊子制作および発送	ほぼ計画通り	神奈川、埼玉、千葉の近隣県の未登録施設への認知拡大を目的とし、チャボナビに関しての広報冊子を作成している。2021年1月よりプロジェクト化し、現在作成に向けての内容を詰めている段階。2021年4月の完成を目標とし、完成後には各施設に郵送を行う予定。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>達成目標として、チャボナビへの会員登録数をKPIとして定めている為、2月時点での登録者数と、参考値として、チャボナビの月間ユーザー数を記載する。</p> <p>会員登録数：332人 月間ユーザー数：8,216</p> <p>【2021年9月目標値】</p> <p>施設登録数：185施設 施設：555人 会員登録数：700人 月間ユーザー数：17,253</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥3,260,000	¥2,740,000	¥6,000,000	¥1,531,640	26%
	管理的経費	¥840,000	¥840,000	¥1,680,000	¥0	0%
合計		¥4,100,000	¥3,580,000	¥7,680,000	¥1,531,640	20%
補足説明		<p>①未登録施設へのチャボナビ登録を促す広報冊子制作が3月末制作完了予定だったが、4月末に予定がずれ込んだことにより、費用（¥700,000）の発生も同様にずれ込み、4月以降に支払いを行う予定のため。</p> <p>②SNS広告を業務委託予定であったが、費用対効果を測定するために、団体内のメンバーが広告を出す形でテストを行った。4月以降は、外部の企業への業務委託を行い、予算を消化していく予定。</p>				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>12月に開催した学習会に参加された方で1名、児童養護施設に対して否定的な感情を抱く方が参加され、当団体への批判的なメッセージが各種SNSや団体メンバーへのダイレクトメールで寄せられた。また、東京都の施設への電話連絡（内容としては、施設批判に関するもの）も当団体が確認した限りで2件確認された。該当の方から当団体に連絡があった段階で、チャボナビに登録されている施設様宛に、注意喚起のメールを配信していたこともあり、大きな影響はなく対応することができた。</p> <p>該当の方への対応については、当団体の弁護士とも連携して対応を行い、現在は一切連絡がない状態にはなっている。</p> <p>今後、団体の認知が広がるにつれて、同様の批判などが起こる可能性があると思われるため、弁護士などとも連携してリスクヘッジを強化していく。</p>

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	<p>○2021年2月15日 NHKニュース「シブ5時」にて団体が取り上げられる 同番組webサイトにて情報掲載 (https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210215/k10012868121000.html?utm_int=nsearch_contents_search-items_001)</p> <p>○地方紙10紙にて、代表大山のインタビューが掲載 掲載新聞：東京新聞・北日本新聞・山陰中央新聞・宮崎日日新聞・愛媛新聞・沖縄タイムス・高知新聞・徳島新聞・京都新聞・日本海新聞 各紙紙面での掲載並びに有料記事での掲載になるため、写真データを添付資料にて提出。</p>
広報制作物等	有	<p>○施設紹介動画：https://www.youtube.com/watch?v=AqQ7qvaBXDU&t=80s 学生向け動画：https://youtu.be/bJyz7lclGRc ○認知拡大のためのLPページ：https://chaibora.org/donation/</p>
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	団体内に窓口を設置するとともに、外部相談窓口として、セーブ・ザ・チルドレン様の窓口を利用。設置を団体内連絡ツールにて、参加者への周知を行った。